

研究課題名「機械的補助循環を要する重症心不全患者の心臓リハビリテーションに関する研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

2000年4月1日から2021年6月30日までの間に当院で機械的補助循環（VA-ECMO，IABP，Impella，体外式VAD，植え込み型LVAD）を要した重症心不全の方。

2. 研究目的・方法

機械的補助循環を要する重症心不全患者では、集学的治療中の運動機能を維持することがその後のイベント発症や回復に影響を与えるとされます。当施設は心臓移植施設であることもあり、様々な機械的補助循環（ECMO、Impella、体外式VAD、植え込み型VAD）を使用していますが、これらの補助循環の種類や目的は異なり、特性も異なります。一方、これらの機械的補助循環の違いが心臓リハビリテーションに与える影響を検討した報告は少ないのが実情です。さらにその結果として、短期・長期のイベント（心血管イベント・出血や梗塞イベント）発症や、転帰に与える影響も明らかではありません。

そこで、本研究では機械的補助循環を要する重症心不全患者における、補助循環の種類、患者背景、身体機能指標、心臓リハビリテーション介入による効果、イベント発症、転帰を比較検討することとします。

方法は、対象者の情報を補助循環の種類によって群分けして比較します。

研究期間は2022年01月11日（実施承認日）～2023年3月31日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録より機械的補助循環を要した入院期間中の以下の情報を収集します。なお、2021年11月30日までの情報を解析致します。

患者背景の基本情報、補助循環に関する情報、血液生化学検査所見、心臓超音波検査所見、カテーテル検査所見、心電図や胸部レントゲン、CT、MRIの画像所見、手術に関する情報、術後経過、身体機能指標、栄養指標、精神的心理面の評価、心臓リハビリテーションに関する内容。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部

理学療法士 田中伸弥

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部

電話番号：052-744-2687

名古屋大学医学部経営企画課 電話番号：052-744-2479

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学 平岩宏章